「3.11とアーティスト：進行形の記録」関連プログラム

wah documentトーク「アート被災地」

wah documentは、東日本大震災を受けて現地で活動した芸術家の心の動きについて、実際に被災地で活動を行なった芸術家のひとりとしてお話ししたいと思います。肉体的にも精神的にも過酷で、衣食住もままならない被災地での生活。そこに不可欠なのは、まさに状況をよりよく捉えなおし、新しいものを生み出すクリエイションに他ならないと私たちは思います。にもかかわらず、その役割を担えるはずの芸術家に震災後、戸惑いや消極性が生じたように見受けました。なぜでしょうか。実際に被災地へ行って活動することにためらいを感じた若手芸術家のひとりとして、その迷いは具体的にどのように生じ、変化し、そしてそれをどう捉えたか。「アート被災地」と題したトークの中で、wah documentが2011年3月から6月に行った活動をとおして自分たちのうちに起こった心境の変化や抱いた考えをお話しし、肉声の記録として残し、今後に役立てたいと思います。皆様のご来場をお待ちしております。

wah document 南川憲二・増井宏文

日時 2012年10月21日［日］、11月18日［日］ 各日15:30-17:00
会場 水戸芸術館現代美術ギャラリー内ワークショップ室
定員 70名（先着順・予約不要） ※料金は展覧会入場料に含まれます。

wah document ワウドキュメント。2006年より活動する参加型表現集団。各地に赴き一般募集した参加者と出し合ったアイデアや、街で集めたアイデアを即興的に実行する活動を展開。被災地では2011年6月に宮城県石巻市にて避難所で生活している子どもたちからアイデアを募り、段ボールで映画館をつくり上映を行う「こども映画館」を、現地の人々とともに実現させた。 http://wah-document.com/

水戸芸術館 ART TOWER MITO
お問合わせ | 水戸芸術館現代美術センター
〒310-0063 茨城県水戸市五軒町1-6-8
Tel.029-227-8120 arttowermito.or.jp